

購読の申し込みは
日本医労連へ
購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替 00160-6-84866
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

第1754号 2021年4月22日
編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL.03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日)
第三種郵便物認可



徳島・鳴門病院労組(上段・下段左)、国共病組東海支部(下段右)

取り組みば成果に 新人100%加入

第2弾第3弾の 声かけを

全国各地で、新人加入100%にむけて多彩な取り組みが行われています。
4月19日現在で、全国で2600人を超える新人職員が新たに医労連の仲間となっています。(各組織ニュースより抽出)

今年の新人職員は、社会人1年目の不安に加え、コロナの不安も抱えて入社してきました。そんな新人職員に、先輩や仲間からの声かけやメッセージは、なにより重要です。新歓に取り組んだことのない組織も、今日から取り組み始めよう！まずは計画から始めましょう！また、一度の取り組みでは加入

短時間でキメル

長い説明は禁物です。職場オリエンテーションの中で組合の持ち時間が短縮されたという声が届いています。一方でそれを逆利用し、「5分間説明会」「ゲリラ説明会」「立ち話説明会」など、短時間にこだわって、ポイントをついていきます。

「年齢が近い・職場が近い・職種が近い」の3つの「近い」に該当する人からの声かけは、心強く説得力があります。「困ってない?」「一緒に職場環境を良くしよう」組合はあなたを守るよ」の声かけが大切です。他にも各組織では、「白衣の裾上げお助け会」「おかし配布」「SNS」

3つの「近い」人の活用

「年齢が近い・職場が近い・職種が近い」の3つの「近い」に該当する人からの声かけは、心強く説得力があります。「困ってない?」「一緒に職場環境を良くしよう」組合はあなたを守るよ」の声かけが大切です。他にも各組織では、「白衣の裾上げお助け会」「おかし配布」「SNS」



新歓支援する東京医労連の仲間



共済アンケート

今年の最強アイテムは「共済アンケート」です。4問回答してもらい、申請すると後日単組・支部にQ&Aカードが共済事務局から届きます。アンケートの結果を参考に、新人100%加入を呼びかけましょう。

2021年 国民平和行進



お寄せください
写真と合わせて、行進の日時・場所・組合名と参加人数、行進の様子や感想をメモにし、本部に送ってください。
〈送り先〉
日本医労連本部
mail: n-ask@irouren.or.jp
Fax: 03-3875-6270

- 〈11コースと行進期間〉
- 5/5～7/27 北海道(礼文島)～青森～岩手～宮城～福島～茨城～千葉～東京
 - 5/5～7/27 北海道(根室)～青森～秋田～山形～福島～栃木～埼玉～東京
 - 6/3～7/27 秋田～山形～新潟～長野～群馬～埼玉～東京
 - 6/25～7/27 長野～山梨～東京
 - 6/3～8/4 富山～石川～福井～京都～兵庫～鳥取～島根～広島
 - 5/6～8/4 東京～神奈川～静岡～愛知～岐阜～滋賀～京都～奈良～大阪～兵庫～岡山～広島
 - 5/7～8/4 和歌山～三重～奈良～大阪→以降は、コース⑥へ合流
 - 5/9～8/6 徳島～香川～広島
 - 7/5～8/6 広島～山口～福岡～佐賀～長崎
 - 6/22～8/6 宮崎～大分～福岡→以降は、コース⑨へ合流
 - 6/13～8/6 沖縄～奄美～鹿児島～熊本～福岡～佐賀～長崎
- ※数字は、医労連が独自につけたコース番号です

「核兵器禁止条約の発効を力に、核兵器のない世界へ、禁止条約に参加する日本を実現しよう」をスローガンに、広島・長崎をめざす2021年国民平和行進。
「歩く」ことこだわって横断幕をつないできた平和行進の意義と教訓はいかじつ、今年は、「歩かない」平和行進も併用します。2020年の全国の経験をいかしながら、スタンディングや、SNSなど、工夫をして参加可能な取り組みに、「こなっぴー」スフラック」を携え、「核兵器禁止条約に批准を」の声を届け、世論に広げましょう。

脈路

今年4月7日は、1回目の「緊急事態宣言」が発出されてから1年目の日でした。現状は野球に例えると、「3回の表、コロナ攻撃中」で、依然として収束は見通せない状況です。医療・介護従事者の行動制限も1年あまりに及びます▼1都3県が発出されていた2回目の「緊急事態宣言」は、3月21日に解除されましたが、解除後も行政のコロナ対応に抜本的な改善がなければ元の木阿弥です。遅かれ早かれ「第4波」に突入します▼などと言っていたら、科学を無視し、新型感染症への感染すら自己責任にする菅政権のコロナ対応に大規模検査や十分な補償、医療機関への減収補てんなどはなく、感染拡大は早くも第4波に突入してしまいました▼しかし、対策の中心は相変わらず、イベント自粛や飲食店に時短営業を求める措置にとどまっています。それどころか、高齢者の多くがコロナの危険にさらされているさなかに、受診控えに追い打ちをかける「高齢者医療費2倍化法案」や、医療機関に対して、コロナ受け入れ病床の確保を求めながら、「病床削減推進法案」の今国会での審議入りを強行するありさまです▼菅政権が発足して半年。コロナ対応の無為無策など、菅政権には政権を担当する能力が欠如していることが半年間の事実を通じて明らかとなりました。来たべき総選挙で政治の転換が求められています。

安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名【紹介・賛同議員一覧】4月19日時点

Table with columns for House of Representatives (衆議院議員 81名) and House of Councillors (参議院議員 44名), listing names, political parties, and approval status.

署名数26万筆超え 紹介・賛同議員125人

日本医労連は5月20日、全労連、国民春闘共闘、中央社保協、医団連、医療三単産とともに、安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため、「5・20」のち署名『採択めざす中央行動』を集めた署名は、4月19日時点の「いのち署名」の集約数は26万2485筆、自治体意見書は185自治体からあがっています。...

「いのち署名」採択めざす中央行動まであと1ヵ月 1人10筆目標達成にむけ、さらなる取り組み強化を

Table titled '「いのち署名」自治体意見書' showing the number of signatures and opinions by prefecture and municipality.



ポストイン行動出発前の岩手医労連のみなさん

採択に至らない場合でも、署名が数多く提出され、紹介議員が増え、国会審議での関連質問が多くなったことで、政府が請願内容について、対策をとるといった状況を作り出した。...

2021年「ナースウェーブ」全県で取り組もう

新型コロナウイルスの感染拡大が1年以上続く現在も、収束が見通せず、医療現場の逼迫した状況が続いています。医療・介護現場では、慢性的な人員不足のなか、新たな感染症対策という困難な問題にも直面し、医師・看護師・介護職員などの大幅増員が喫緊の課題であるということが改めて浮き彫りになりました。...





厚生省に要請する日本医労連の役員
(左列) =16日

日本医労連は、4月16日、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急要請(第7次)」を厚生省に行いました。この要請は「第4次『新型コロナウイルス感染症』に関する実態調査」結果をもとにしたもので、日本医労連からは、森田しのぶ中央執行委員長はじめ6人が参加しました。

要請では、定期的なPCR検査の拡充や、全ての医療機関・介護事業所への十分なワクチン接種に対する不安の

政補償を行うこと、今後の新興・再興感染症に備え、医療計画、地域医療構想、医師・看護師の需給推計と確保計画などを抜本的に見直すこと、国の責任で安心してワクチン接種をできること等を強く求めました。

ワクチンの接種状況について厚生省は、医療従事者のうち2回接種終了者は1割程度と回答。日本医労連からは、労災適用となると回答しました。

声が届いていないことを伝え、正しい情報を共有するために先行接種のモニタリング結果を早く現場に戻してほしいと要請しました。また、副反応発生時は労災認定とし、休業補償等を行うことを要請。厚生省は、田村厚労大臣が副反応による休みについては「労災適用」と答弁したことに触れ、休んだ日数分、労災適用となると回答しました。

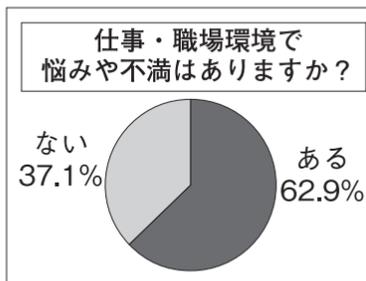
新型コロナ
財政支援と人員増
定期的な検査体制を
緊急要請(第7次)

「新型コロナへの不安」80.7%

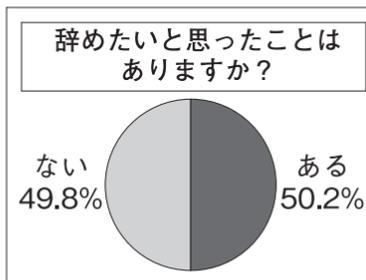
日本医労連 入職1年目アンケート

労安対策委員会

日本医労連労安対策委員会では、新型コロナウイルスの治療や感染対策を最優先にせざるを得ない中で、職場や業務に慣れるだけでも大変な1年目職員との対話を行い、1年目職員(2020年4月入職)が置かれた状況を把握するために「入職1年目みんなの聴き取りアンケート」を呼びかけました。



○調査期間 2021年2月1日から3月26日
○方法 アンケート用紙を活用した聴き取りとWebでの調査
○回答数 596件
○職種 医師2人・看護職340人・薬剤師12人・リハ職59人・放射線技師20人・検査技師36人・臨床工学技士18人・介護職20人・管理栄養士11人・事務32人・他46人
悩み・不満「ある」6割超え
「ある」とした回答は62.9%でした。自由記入欄には「向いてないと



思う」「仕事に自信が持てない」「業務がうまくできない」「仕事になかなか慣れない」「職場の人との人間関係に不安がある」「職場にうまく打ち解けられていないか不安」「人手不足で患者の安全確保ができていない」「サービスマスクがめっちゃくちゃ多い」などの声が寄せられました。仕事・職場の悩みでは「業務での緊張が強い」が最も多く、50.7%でした。

「気分が落ち込む」「首筋や肩がこる」「常に気が張っている」と訴え、緊張感を訴えた回答も多く寄せられました。また、全体の7人に1人が「眠れない」と不調を訴えました。ストレスチェックなど

7%が「ある」と回答し、多くが「感染すること」「感染させること」に不安を感じています。「ワクチン接種」では30.7%、「後遺症」では26.6%、「偏見・差別」では24.3%が不安に感じました。その他の自由記載欄には「交流活動の停滞」「行動制限が多い」「医療者が頑張らないといけない世論の雰囲気」など、医療・介護従事者の置かれた苦しい状況を訴える声が多く寄せられました。



「心身の不調については、57.9%が「ある」と訴えています。全体の4人に1人が「ひどく疲れる」「首筋や肩がこる」「気分が落ち込む」など訴え、「常に気が張っている」と緊張感を訴えた回答も多く寄せられました。また、全体の7人に1人が「眠れない」と不調を訴えました。ストレスチェックなど職場の労働安全衛生活動によるフォローが不可欠な結果となっていました。

2人に1人「仕事辞めたい」
仕事を辞めたいと思ったことが「ある」は50.2%でした。「ある」と回答したうち4人に1人が「つねに」辞めたいと考えていました。辞めたいと思う原因は、「仕事に自信が持てない」73.2%で「孤立感がある」と訴えたのは17.1%でした。全体の12人に1人が孤立感を訴えていました。

アンケート調査結果は、回答いただいた2年目になる職員や今年の新入職員のフォローや、あらためて職場の労働環境を整備する資料としてご活用ください。

国際連帯行動

ディーセントワークの実現へ (働きがいのある人間らしい仕事)



日本医労連は4月15日、東京・有楽町イトシア前で定例のディーセントワーク宣伝に参加しました。

内閣府が発表した去年1年間のGDPの伸び率は、前の年と比べてマイナス4.8%と、リーマンショック翌年の2009年以来、11年ぶりのマイナスとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大と十分な補償がないままの自粛の中で、飲食関係や旅行業をはじめ多くの業種で閉店・廃業が相次いでいます。その影響は非正規労働者を中心に現れ、86万人(2020年12月)も減

少しています。4月のディーセントワーク宣伝行動では、グローバルアクション(国際連帯行動)と合わせ、①春闘要求の実現、②生活保障に税金をまわさせ、③最低賃金の引き上げと全国一律制度の実現を訴えました。

日本医労連からは、森田進書記長が発言。チームワークが求められる社会福祉施設で派遣が認められていること自体がそもそもおかしいのに、さらに「日雇い派遣」を認めるのは安全面からみても見過ごすことができないと訴えました。

医療費2倍化 止めよう 国会行動

75歳以上の医療費窓口負担2倍化法案が衆議院で審議入りする中、2倍化法案に反対する行動が4月8日、衆議院第2議員会館前でわれ、日本医労連も参加しました。参加者は、「医療費窓口負担2倍化止める」「医療費負担2割は生活できない」などのプラカードを掲げてアピールしました。

日本医労連・鎌倉孝副委員長は、コロナ禍の医療現場の実態を訴え「2割負担を押し付けることは、受診抑制・中断を広げ、重症化を招くばかりか、コロナ危機のもとで将来への不安を増長させることになる」「医療・介護、社会保障の抑制政策を大転換させよう」と訴えました。

第48回 医療研究 参加 レポート 募集開始

第48回医療研究全国集会@ WEBの参加申込み・レポート募集開始しました。

〈全体集会〉

6月12日 13時～17時
6月13日 10時～16時

〈分科会〉

申込みはWEB受付のみ

〈締切り〉6月7日まで

全体集会・分科会への参加は、下のQRコードより、それぞれ参加登録して下さい。参加URLは6月9日に申込者宛にメール致します。

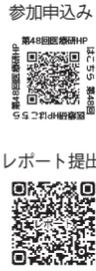
分科会

①地域医療と住民福祉の実態を知り、医療・社会保障のあり方を考える。
②看護ケアの連続性と質
③日本の精神保健医療福祉の改善を目指して
④患者のための臨床検査
⑤病院・介護・福祉施設における給食の現状と現場環境改善
⑥職場の安全衛生と環境改善
⑦施設介護・在宅介護
⑧わたしたちが大切にしたい保育

分科会のみ開催となります。レポート提出

〈締切り〉5月31日まで

問題提起・要項に沿って送付して下さい。なお、レポート提出は、分科会への参加登録後に行ってください。当日受付は行いません。
※②、⑦のレポート募集は行いません。



メーデー写真大募集

コロナ禍の下、第92回メーデーが、各地で開催されます。開催方法については、WEBやスタンディングなど、さまざまな企画がされています。メーデーは、全世界の労働者が同じ日に決起する、労働者による労働者のための日です。コロナ禍だからこそ訴えやアピールなど、工夫をこらした取り組みをお寄せください。

〈応募先〉日本医労連 教育宣伝局
〈締切り〉5月14日(金)
mail: n-ask@irouren.or.jp
FAX: 03-3875-6270
青年は、SNSを活用し、『若者の要求アピール大作戦 in メーデー』に取り組みます。(発190号)
〈応募先〉mail: seinen@irouren.or.jp



2019年中央メーデーの様子



●春の楽しみひとつは「はつきや味噌」。たくさん作って会えない家族に久しぶりのお裾分けをしました。

(秋田・近藤文)

●職場の先生が産後7カ月で職場復帰。院内保育所から授乳の時間ですと電話連絡あり。哺乳瓶が駄目らしく大変。子どもと育てて両立、頑張ってください。皆協力します。

(秋田・高橋敦子)

●厚労省で、パワハラ対策担当の相談員が、部下にパワハラをしていたそう。これだけで

も問題だが、減給1カ月の処分というのめいがかがなもか。これでは、パワハラがなくなるわけがない。

(福島・窪田裕)

●新採用者への組合加入呼びかけ、例年にも増して、大変そうです。大津日赤では、職場毎の加入説明を組合事務所で行っています。なかなか加

入となつていませんが、粘り強く頑張っています。

(滋賀・若山義弘)

●大阪府ではコロナ感染が急増。吉村知事の右左左左左、何事も行き当たりばったりで、何が重要なかわかってないようです。科学的な一貫性を持った対策を求めます。

(大阪・土井エリ子)

【パズル解答】
1752号の答えは「チューリップ」でした。正解者の中から抽選でQ.U.Oカードを贈呈します。

【応募方法】
①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を5/13(木)までに応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」FAX 03-3875-6270
mail: n-ask@irouren.or.jp

■ヨコのカギ

- 1 文金……に白むく衣装の花嫁さん
- 5 鹿の……を蜂が刺す
- 7 歌の文句のことです
- 8 的にうまく当たること
- 10 日本神話の天照大神が隠れたという天の……
- 12 ころもへんに禁と書いて?
- 13 髪の毛のことです
- 15 甲と丙の間です
- 16 しみつたれ
- 17 紅・紙・約の部首は?
- 19 まきを割る道具
- 20 家の外。……音楽会
- 22 肩からヒモでつり下げた小型のバッグ
- 25 タイを釣ることもある
- 26 下着の外側に着ます
- 27 そのものの本当の性質

ザクロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

答 A B C D E F

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに?
……

■タテのカギ
1 反対語は「安い」、または「低い」
2 端午の節句に食べます手足にできる水ぶくれやせるための……食
3 雨の目が多い季節
4 出来高で支払う……給
5 首都はサンティアゴ
6 無人……日本列……郵便物や新聞を配り届ける……人
7 民話「つるの……」
8 5月3日は……記念日
9 建物内の区切った空間
10 ホームセンターでも売っています
11 ゆがんだ形
12 ヒフにできる細いすじ歩いて行くこと

新歓には「共済アンケート」

医労連共済だよ!

この機関紙の3面では「入職1年目アンケート」が紹介されていますが、1年目職員は、コロナ禍で職員間の交流が減り、研修なども制限される中で働き、悩みや不安を抱えてきました。今年の新入職員も、同様の職場環境に置かれます。労働組合からの声かけ、働きかけが今ほど大切な時はありません。

新入職員を迎え入れるため、新歓第2弾・第3弾の取り組みを進めましょう。

この間、新歓で力を発揮しているのが「医労連共済 みんなの助けあいアンケート」です。

簡単な質問に答えてもらえば1千円分のQ.U.Oカードを届けることができます。4月19日現在、65単組支部から1504人分のアンケートが届いています。アンケートで声かけ、Q.U.Oカードを届けて対話、資料を届けて共済説明会ができます。

まだまだ取り組みの余地があります。新歓第2弾・第3弾の取り組みで「みんなの助けあいアンケート」をしっかり活用しましょう。

医療の眼

責任感や使命感が 離職に歯止め

新型コロナウイルスの収束が見通せないまま一年が経過する中で、日本医労連では、第4次となる「新型コロナウイルス感染症」に関する実態調査を実施しました。

第3波が押し寄せ、病床が逼迫する中、県から病床拡大要請を受けた医療機関では、「二病棟をコロナ専用病棟にしたが人員が不足し、結局一病棟を閉鎖した」、「受け入れ数が増えて、妊娠が判明しても業務を免除できなかった」、「体調不良でも勤務せざるを得なかった」など、現場は危機的状況だったことが伺えます。

また、職場での感染の不安や行動制限によって、ストレス解消の場もなく、メンタル不調に陥りやすい状態であるほか、りか、一向になくならない差別と偏見によって、現場の疲弊感は極限まで高まっていると感じました。この状況下なら、当然離職者数は増えているのではないかと思いきや、コロナ前と比較して離職者数が増えたと回答しました。精神的にも肉

体的にも厳しい1年を過ごすにきたにもかかわらず、極端に離職者が増えたとはいえないその背景には、「患者を見捨てて職場を去れない」、「頑張っている仲間を裏切れない」という、責任感や使命感があると推測できます。そして、そうした医療従事者によって辛うじて保っているのがこの国の医療体制なのだと言えます。

コロナ禍の中で医療法等改正法案
医療従事者が心身を削りながら命を守るために奮闘している最中の3月18日、国会では医療法等改正法案が審議入りとなりました。17本の法案を一括に束ねた法案で、医療破壊の目くらまし法案となつています。その中には、「良質かつ適切な医療」からは程遠く、医学部定員数の削減をはじめ、医師の負担軽減を口実とした多職種へのタスクシフトと病院・病床を削減し、医療提供体制の縮小・再編を図るもので、到底認められるものではありません。

1001回目のプロローグ
病床が逼迫し、医療を受けることなく、自宅療養中に亡くなる方が相次ぎました。この国で、

でも医療が介入することすらできない、それほど脆弱な医療提供体制になっていたことを、国民の多くはようやく気付いたのではないのでしょうか。これこそが、度重なる医療費抑制政策の中で、慢性的な人員不足の放置と、効率最優先の医療・介護政策が推し進められた結果です。

それなのに、なぜいま国会では病床削減に拍車をかけ、医療提供体制を弱体化させる法案を審議しているのでしょうか。病床削減の財源は全額消費税増税分です。国民は、「コロナで客も減り事業もなりたない」もこれ以上家計を切り詰めるられない」という状況の中で消費税の負担を強いられています。まさか自らを医療から遠ざけることのために消費税が使われるとは、誰が想像できるでしょうか。

まもなく日本初のメーデーから1001回目となる第92回メーデーが開催されます。医療や社会保障の充実と、人間らしく働くルールづくり、すべての人々が人間らしく生きることをできる社会の実現、そして、いのちを置き去りにする政治にさようならをするために、ここから一歩、また大きく踏み出しましょう。

川上 真理

コロナ禍の教訓こそ次の社会をつくるプロローグ